

処理手順フロー

受注者 <i>斜め文字は現場代理人</i>	監督職員	所属長又は発注者	備 考
<p>○災害の発生</p> <p>○報告 → (第一報) 口頭又は電話等による概況報告</p> <p>○発注者に通知</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>損害発生通知書 (様式第 15 号)</p> </div> <p>現場確認、現場保全に支障をきたさないよう直ちに行う。 必要に応じ、増破防止のための臨機の措置を講ずる。 「出来高確認資料」 「被災状況写真」 「その他必要な図面等」 「不可抗力の発生を証明する関係機関の証明書類」を添付</p>	<p>○災害の事実発生報告 (第一報) 口頭又は電話等による概況報告</p> <p>工事監督員経由</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>○建設工事監督規程第 14 条</p> <p>○契約書別記第 29 条第 1 項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未施工部分が被災し、現場に状況変化をきたした場合は、第 18 条規定の現場不符合等の対応を伴うので、損害の有無にかかわらず、被災事実について報告することが望ましい。</li> <li>・損害発生原因は詳細に記載すること。</li> <li>・損害内容は次の項目ごとに、名称、規格、品質、性能、数量、損害の程度を詳細に記載すること。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①工事目的物</li> <li>②工事材料</li> <li>③仮設物又は建設機械器具</li> </ol>
<p>○現地調査 ← 立 会</p>	<p>○現地調査 損害発生の原因、損害の内容、事実発生時における管理状況等</p>	<p>○</p>	<p>○契約書別記第 29 条第 2 項</p>
	<p>○事実確認、報告 →</p>	<p>○</p> <p>○損害合計額の算定</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①損害額の計算</li> <li>②受注者の善管義務の確認</li> <li>③火災保険、その他の保険等のてん補にかかる確認</li> <li>④損害合計額（基本額）の算出</li> </ol> <p>○負担額の決定 損害合計額（基本額）のうち、請負代金額の 1/100 を超える額は、発注者の負担となる。</p> <p>↓</p>	<p>○契約書別記第 29 条第 2 項</p> <p>○契約書別記第 29 条第 2 項、5 項</p> <p>○契約書別記第 29 条第 4 項</p>

受注者 <i>斜め文字は現場代理人</i>	監督職員	所属長又は発注者	備 考
<p>○ ← 内容承諾 →</p> <p>○ ←</p> <p>↓</p> <p>○ 損害の請求</p> <p>損害費用負担請求書</p>	<p>○受注者との協議 ←</p> <p>工事打合簿（様式第43号）</p> <p>損害状況確認通知書案を添付</p>	<p>↓</p> <p>○受注者への通知案の作成</p> <p>↓</p> <p>○予算措置（22節補償費）の後に受注者に通知</p> <p>損害状況確認通知書（様式第16, 16-1号）</p> <p>○</p> <p>↓</p> <p>○損害額の負担</p> <p>22節補償費により別途契約し、40日以内に支払い</p>	<p>○契約書別記第29条第2項</p> <p>○契約書別記第29条第3項</p>